

① 話すこと [やり取り]

A. 単元の目標

日常的な話題（美術館・芸術作品など）について、情報や考えなどを話して伝え合うことができる。

B. テストについて

1. テストは教師との対話形式とする。生徒は1人ずつテストを受ける。
2. 教師の質問に対して、生徒は回答する。
3. 長い沈黙がある場合は同じ質問を行う。答えられない場合は、次の質問に移る。
4. 「D. 採点の基準」に則って評価を行う。

C. テスト問題

あなたは、この町に住んで3年目のALT, Mr. Collins と美術館に関連する会話をします。先生が Mr. Collins の役をします。Mr. Collins からの質問に答えてください。会話の時間は1分です。（◆Suppose you have a conversation about museums with Mr. Collins, the ALT who has lived in this town for three years. I will play the role of Mr. Collins. Answer Mr. Collins' questions. The conversation should last one minute.）

D. 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、2つの条件をどちらも満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。

条件1：美術館に行った経験について述べている。
 条件2：好きな芸術作品について述べている。

※「条件2」に関しては、下記 E <例②>のように可能な回答の範囲を広げたり、作品の英語名が不明な場合は日本語で答えさせたりしてもよい。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。 聞き手にわかりやすい音声等で話して伝えている。	2つの条件を満たしたうえで、関連する情報や自分の考えを詳しく話して伝え合っている。	2つの条件を満たしたうえで、関連する情報や自分の考えを詳しく話して伝え合おうとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 理解に支障のない程度の音声等で話している。	2つの条件を満たして話して伝え合っている。	2つの条件を満たして話して伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※「知識・技能」の基準「a」については、応答でのSVを含む文の使用を考慮する。